

教科名	理科	科目名	化学基礎	年次	2年次	単位数	2
教科書	改訂 新編 化学基礎 (東京書籍)		副教材	新課程 ニューサポート 新編化学基礎(東京書籍)			

1 科目の目標

化学では物質をつくっている極めて小さい粒子に注目し、物質の性質やその変化を明らかにしていく。すると、直接観察してもわからなかった自然現象の中から共通点や違いを見出し、自然をより体系立てて理解することができる。このような「物質を見る目」が「化学」である。化学基礎では化学の基本的な事柄を学習し、自然や環境を見るときに新しい視点を持ち、未来を生き抜く力を養う。

2 学習について

① 予習の方法

予習：教科書本文を読み、中学での学習内容を思い返しましょう。

② 授業における学習方法

授業では先生の説明や実験をよく見聞きし、先生の問いに自分で考え、関心をもって参加するように心がけましょう。

わからないことは早めに担当の先生に尋ねましょう。授業時間内の質問でも、放課後などでも質問することは可能です。

③ 家庭学習のポイント等

授業で習った箇所の教科書を読み返してみましょう。宿題（問題集など）は、出された当日に必ず自分の力で解いて答え合わせをしておくようにしましょう。

3 学習計画

考査		単元名（学習項目）	学習内容（ねらい）
前期	前期 中間	物質とその構成元素 化学結合（イオン）	自然界より物質をどんどん掘り下げて原子まで見ていく。 自然界を構成する物質を大分類し、特徴を見ていく（イオンまで）
	前期 期末	化学結合（共有結合より） 物質量	（共有結合、金属、各種結晶まで） 化学の計算上、便利な物質慮の概念を取得する。（SDGs「産業と技術革新の基盤をつくろう」）
	後期 中間	化学反応式 酸塩基（pHまで）	SDGs「つくる責任つかう責任」 さまざまな化学反応を代表的なものを取り上げて見ていく。 化学の二大反応のひとつ、酸とは塩基とは何かについて学習する。
後期	学年 末	酸塩基（中和から） 酸化還元反応 化学が拓く世界	中和反応について量的関係まで学習する。 化学の二大反応のもうひとつ、酸化還元反応について学習する。 今まで学習してきた「化学」が身のまわりでいかに活かされているか、SDGsに関連付けた課題解決に取り組む。

4 観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
化学の基本的な用語・理論・計算などを身に付けることができる。	論理的に考える力を伸ばし、他者と学びあいができるようになる。	身の回りの自然現象を「化学の目」で見るといった態度を養うことができる。

5 評価方法

計 70時間（50分授業）

上記の観点を踏まえ、定期考査・課題考査・宿題などの提出された課題、学習態度等を以下の割合で総合的に評価する。

知識・技能・・・40% 思考・判断・表現・・・30% 主体的に学習に取り組む態度・・・30%